シメの幼鳥・若鳥・成鳥とその雌雄の識別

蓮田市　長嶋宏之

目先の黒味でシメの雌雄を識別している方を見かけます。しかし、目先の黒味では成鳥か若鳥かの識別はできますが、雌雄の識別には注意が必要なうえ難しいです。そこで、成鳥・若鳥の識別と雌雄の識別について、手元の図鑑等を紐解き、分かり易く解説を試みましたので、生態と特徴を合わせて下記に紹介します。

１．シメの分類と語源

分類：スズメ目アトリ科シメ属シメ亜種シメ　＊1

学名：*Coccothraustes coccothraustes japonicus*

英名：Hawfinch

標準和名：シメ

語源：地鳴きの声が「シー」で、鳥を表す「メ」がついてこの名になった。古くは、ひめ、しめと呼ばれ、江戸時代にシメとなった。

豆を好むので、まめくち、まめどり、まめまわし、まめわり、の名もある。＊2

学名の *Coccothraustes coccothraustes*　は“穀物を砕く鳥”の意 。＊2

英名の Hawfinch は“サンザシの実を好むアトリ科の小鳥”の意

亜種と分布　＊3：

Scientific Name	*Breeding Range*
C. c. coccothraustes	*Europe to c Siberia and n Mongolia*
C. c. buvryi	*nw Africa*
C. c. nigricans	*s Ukraine, the Caucasus, ne Turkey and n Iran*
C. c. humii	*s Kazakhstan and e Uzbekistan to ne Afghanistan*
C. c. shulpini	*se Siberia, ne China and Korea*
C. c. japonicus	*Kamchatka, Sakhalin and Kuril Is. (se Russian) and Japan*

☆北アメリカ、南アメリカ、オーストラリア、南アフリカなどには分布していない。

☆カムチャッカと日本は地理的に離れているが、同じ亜種である。

２．生態と特徴

TL:16～19cm,　W:31cm,　WT:46～70g　＊4

多くは冬鳥として全国各地に渡来し、北海道から本州中部で局地的に繁殖し、冬は低地に移動する漂鳥。平地から山地の針広混交林、落葉広葉樹林、市街地の公園など明るい林に生息する。嘴と頭部が大きく、尾が短いずんぐりした体形で凹尾。飛ぶと白い翼帯が目立つ。

スズメよりやや大きく、木の天辺に留まっていることがある。

雄成鳥は目先から腮は黒く、頭部は淡茶褐色で、後頸、腰は灰色。背、肩羽は暗褐色。胸以下は灰褐色。翼は青色光沢のある黒色で、三列風切は茶褐色で、一部は灰褐色。初・次列風

切は特異な形をしている。尾は短くて先端は白色。嘴は非常に太く肉色で円錐形、夏羽では鉛色。足は短くて淡褐色。雌は雄よりも褐色味が強く、眼先から腮は灰黒色で、次列風切の外縁は灰白色。虹彩は成鳥では赤褐色で、幼鳥では橙褐色で鈍い＊5。また幼鳥の脇腹、脇胸には半月状の黒斑があり、喉の黒色部は小さく、初列風切の先端の変形は小さい。

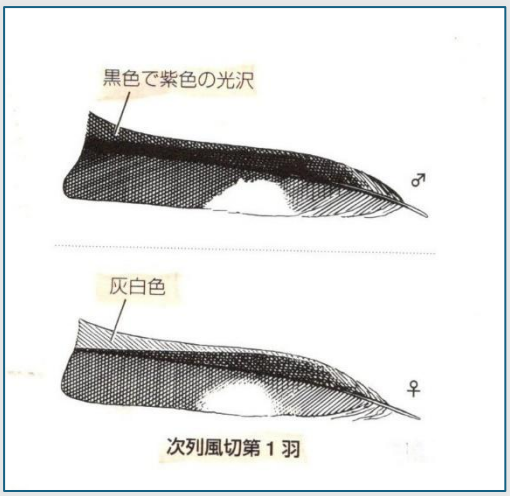
〈追記メモ〉

① 北海道では夏鳥。本州以南では冬鳥。
② 嘴で噛む力は 30Kg と言われている。＊6
③ くちばしだけで種子の皮をむいて食べるので、種子を安定して支えられるように、舌の先が手の平のように平らになっている。＊6
④ カエデ・シデ・エノキ・ヤマハゼ・ムクノキ、大豆などの種子を食べる。
⑤ 正面顔は怖い。
⑥ 初列風切基部と大雨覆いは白く＊7、尾羽は T2～T6 の内弁の先が白い＊13。
⑦ 深い波状を描いて飛ぶ。
⑧ 卵期は 5 ～ 6 月。 1 巣の卵数は 4 ～ 6 個。大きさは 24×17mm 位。抱卵日数は 14～15 日。淡青緑色の地色に灰青色や褐色の半点や線状の模様があって美しい。林の中の枝に椀型の巣をかけ、巣材に枯枝、枯葉などを、産座に細い根、馬の毛などを敷く。＊8
巣の外径 11-20cm、内径 6-10cm、深さ 4-5cm、高さ 6-7.5cm ぐらい。＊14
⑨ 地鳴きは「チチッ」、「ピチッ」、「ツイッ」など。囀りは「ツツツ、チューピッピッツィリリ」＊11。しかし、ほとんど囀らず、繁殖地でも聞くことは少ない。
⑩ 渡去前は群れで行動する。
⑪ 地上にも降りてホッピングをする。＊12
⑫ 初列風切 9 枚（P10 は退化）、次列風切 6 枚、三列風切 3 ～ 4 枚、尾羽 12 枚　＊13
⑬ 翼式　P 7 ＞P 8 ＞P9＞P6＞P 5 ＞P 4 ＞P 3 ＞P 2 ＞P 1 （ ＞P10 ）

3．成鳥と幼鳥、雌と雄の識別

（1）年齢による識別　　成鳥：SC　夏季完全換羽
幼鳥：sp　 夏季（秋期）部分換羽

幼鳥は秋に風切を換羽しないため＊10、幼羽の風切は性の識別が可能な第 1 回冬羽と同じである。従って、幼羽でも次列風切の外弁の色で雌雄の識別はできる。
幼羽からの換羽の後は識別に有効な羽色の差異は知られていない。(幼鳥は頭部、頸、胸の黄色味、暗色の斑点のある羽衣、および腮に黒斑がないこと、下嘴の下に細い帯があることによって容易に識別ができる。＊9)



上記枠内は＊9 より引用。
雌雄の次列風切外弁の色の違い。

① 雌雄の識別ポイントは

次列風切の外弁にあり！

♂は黒色で紫色の金属光沢がある。

♀は光沢のない灰白色。

②成鳥と幼鳥＆１W の識別ポイントは目先の黒味にあり！

成鳥は眼先に黒味有。

幼鳥および１W は黒味がなく淡色。

（２）雄成鳥



写真１：シメ♂Ad(2020-01-30)長嶋―埼玉古墳公園

写真１
① 次列風切外弁が黒く光沢がある。⇨ ♂
② 目先に黒味がある
⇨ Ad

確認してみましょう。



写真２：シメ♂Ad(2008-01-28) 長嶋―北本自然観察公園

（３）雌成鳥

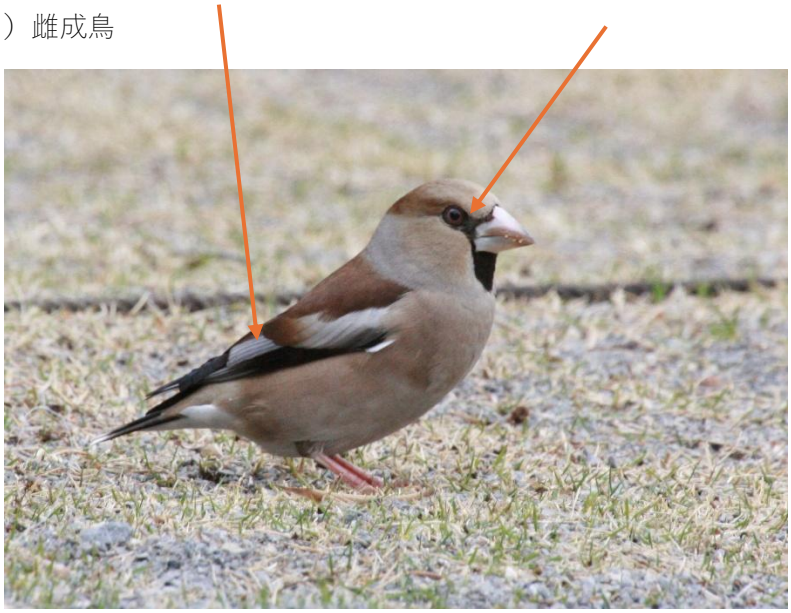


写真３
① 次列風切外弁が灰白色 ⇨ ♀
② 眼先に黒味がある ⇨ Ad

眼先に黒味が有っても次列風切外弁が灰白色なので♀です。

写真３：シメ♀Ad(2011-04-03)長嶋―西城沼公園

確認してみましょう



写真４：シメ♀Ad(2010-03-01)長嶋一自宅

（４）雄若（１W）

この写真は手もとに無く、図鑑や Net で検索したが、見つからなかった。将来、シメ♂若（１W）の写真が撮れたら、追って紹介したい。

（５）雌若（１W）



写真５
① 次列風切が灰白色　⇨　♀
② 目先に黒味が無く淡色
　　⇨　１W

写真５：シメ♀１W(2020-02-06)長嶋―加須はなさき公園

確認してみましょう



写真６：シメ♀１W（2013-02-21）長嶋―武蔵野公園

（６）シメ♂幼鳥

Net で検索したら下記の写真が見つかりましたので紹介します。

https://www.bing.com/images/search?view=detailV2&ccid=UwIJ9hqk&id=A45B8A60BE668EF9B5BF6EC674A4D8C9758C0815&thid=OIP.UwIJ9hqkV4f2dwz-qVM14AHaFN&mediaurl=https%3a%2f%2fimg.atwikiimg.com%2fwww35.atwiki.jp%2ftori-zukan%2fattach%2f40%2f76%2fshime_2.jpg&exph=450&expw=640&q=%e3%82%b7%e3%83%a1%e5%b9%bc%e9%b3%a5%e9%9b%84%e3%81%ae%e5%86%99%e7%9c%9f&mode=overlay&FORM=IQFRBA&ck=5E35612DB5AAB4BF43F733C7446FFE26&selectedIndex=0&idpp=serp&ajaxhist=0&ajaxserp=0

（７）シメ♀幼鳥の写真

Net で検索したら下記の写真が見つかりましたので紹介します。

https://www.bing.com/images/search?view=detailV2&ccid=%2brW0IXyR&id=60647C3B2ECCD37149FA153B35A5951E374F1819&thid=OIP.-rW0IXyR3W56qKxdQFadNAHaE8&mediaurl=https%3a%2f%2fstat.ameba.jp%2fuser_images%2f20180921%2f09%2fhoshitoissyo%2f0e%2f8b%2fj%2fo0812054214269919570.jpg%3fcaw%3d800&exph=534&expw=800&q=%e3%82%b7%e3%83%a1+%e5%b9%bc%e9%b3%a5&mode=overlay&FORM=IQFRBA&ck=105F96F0532A1E072783A0CB85A8B436&selectedIndex=0&idpp=serp&ajaxhist=0&ajaxserp=0

４．まとめ

① 次列風切外弁の色

♂：Ad,1W ともに黒色で紫色の光沢がある。

♀：Ad,1W ともに灰白色。

② 目先の色

♂：Ad は黒色。渡去前も飛来時と同じく黒い。

♀：Ad は黒褐色。渡去前に濃くなる。

若（１W）：黒味がないか、あっても小さく焦げ茶色。

＜注意＞目先の色の濃淡とその大きさによる雌雄の識別は注意が必要

５．記号の説明

Ad　：　成鳥

Juv　：　幼鳥　（本稿では孵化後第１回の換羽までの期間、換羽して１W となる。）

１W　：　若鳥、第１回冬羽

P　：　初列風切

SC　：　成鳥は夏期（繁殖期後）完全換羽をおこなう。　大文字は成鳥、S は夏季、C は完全換羽

sp　：　幼鳥は夏期（～秋期）に部分換羽をおこなう。　小文字は幼鳥、 p は部分換羽

T　：　尾羽

♂　：　雄

♀　：　雌

＊　：　＊に続く番号は引用文献の番号を示す。

6．最後に

校正と査読をして下さいました方に感謝申し上げます。

7．引用文献

＊1 日本鳥類目録【改訂第 8 版】2024 年　日本鳥学会

＊2 名前といわれ　日本の野鳥図鑑（1）野山の鳥　偕成社

＊3 IOC World Bird List (v 15.2).

＊4 BIRDS OF EAST ASIA　MARK BRAZIL　2009 年

＊5 日本の野鳥 650 決定版　写真・真木広造　解説・大西敏一・五百澤日丸　2014 年　平凡社

＊6 鳥のおもしろ私生活　ピッキオ編著　主婦と生活社

＊7 フィールドガイド日本の野鳥　増補改訂新版　高野伸二著　2026 年 1 月　日本野鳥の会

＊8 エコロン自然シリーズ　鳥　小林桂助著　1996 年　保育社

＊9 ヨーロッパ産スズメ目の識別ガイド　Lars Svensson 著　2011 年　文一総合出版

＊10 Identification Guide to European Passerines　Lars Svensson 1992

＊11 新訂日本の鳥 550 山野の鳥　五百澤日丸、山形則男他　2014 年　文一総合出版

＊12 鳥 630 図鑑　（財）日本鳥類保護連盟　平成 8 年　（財）日本鳥類保護連盟

＊13 原寸大写真図鑑　羽　叶内拓哉・高田勝　2018 年　文一総合出版

＊14 増補改訂版　日本鳥類大図鑑 1　清棲幸保　1980 年　講談社

2026-09-29　　以上